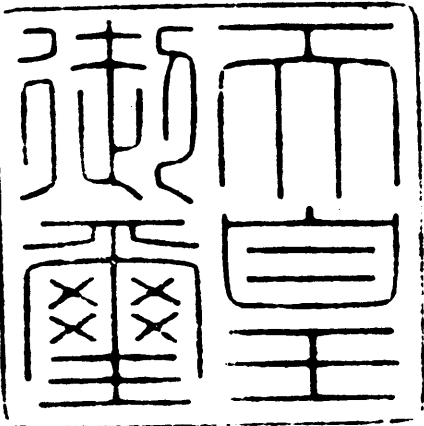


法律第百五號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル國民體力法  
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十五年四月六日

月

月

内閣總理大臣  
文部大臣  
厚生大臣

米内光政  
樺浦鎮吹即  
吉田茂

法律第百五號

國民體力法

第一條 政府ハ國民體力ノ向上ヲ圖ル爲本法ノ定ムル所ニ依リ國民ノ體力ヲ管理ス

前項ノ管理トハ國民ノ體力ヲ論在シ其ノ向上ニ付指導其ノ他必要ナル措置ヲ爲スヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ被管理者ト稱スルハ本法施行地内ニ居住地（一）ノ居住地ナキ者ニ付テハ命令ヲ以テ定ムル地トス以下之ニ同ジ）ヲ有スル帝國臣民タル未成年者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當セザルモノヲ謂フ

一 陸海軍軍人ニシテ現役中ノモノ（未ダ入營セザル者及離休

内

閣

下士官兵ヲ除ク)又ハ戰時若ハ專斷ニ際シ召集中ノモノ

二 陸海軍ノ學生生徒

三 其ノ他勅令ヲ以テ定ムル者

第三條 本法ニ於テ保護者ト稱スルハ該管理者ニ對シ親權ヲ行フ者(親權ヲ行フ者トキトキハ後見人又ハ後見人ノ職務ヲ行フ者)ニシテ本法施行地内ニ居住地ヲ有スルモノヲ謂フ

第四條 該管理者ニシテ其ノ年十一月三十日ニ於テ年齡二十年ニ達セザルモノハ本法ノ定ムル所ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要ス

保護者ハ前項ノ被管理者ヲシテ體力検査ヲ受ケシムル義務ヲ負フ但シ該管理者ヲ教育、監護又ハ使用ノ目的ヲ以テ寄寓セシムル

者アル場合ハ其ノ者ニ於テ其ノ義務ヲ負フ

第五條 市町村長ハ前條第一項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要スル被管理者ニシテ其ノ市町村内ニ居住地ヲ有スルモノノ體力検査ヲ行フベシ但シ事務所、商店、工場、事業場等ノ事業主又ハ管理人ニシテ勅令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ヨリ體力検査ヲ行フコトヲ命ゼラレタルモノハ其ノ事務所、商店、工場、事業場等ニ使用セラルル被管理者ニシテ同條前項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要スルモノノ體力検査ヲ行フベシ勅令ヲ以テ定ムル學校又ハ幼稚園ニ在學又ハ在園スル被管理者ニシテ前條第一項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要スルモノノ體力検査ハ前項ノ規定ニ拘ラズ當該學校長又ハ園長之ヲ

行フベシ

第六條 第四條第二項ノ規定ニ依ル義務者ハ被管理者ノ氏名、生年月日其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項ヲ被管理者ノ居住地ノ市町村長ニ届出ツベシ但シ前條第二項ノ被管理者ニ關シテハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 本法ニ定ムルモノノ外體力検査ノ項目、時期、方法、結果ノ發生其ノ他體力検査ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 被管理者體力検査ヲ受ケタルトキハ本人又ハ保護者ニ對シ體力手帳ヲ交付ス  
體力手帳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被管理者若ハ保護者又ハ被管

理者若ハ保護者タリシキニ於テ之ヲ保存シ體力検査其ノ他命令ヲ以テ定ムル社會ニ之ヲ提示スベシ

前二項ニ定ムルモノノ外體力手帳ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條 檢驗、療養ノ指導其ノ他體力管理ニ關スル醫事ニ從事シムル爲メ國民體力管理醫ヲ辨ク

國民體力管理醫ハ醫師又ハ齒科醫師ニ就キ之ヲ選任ス  
醫師又ハ齒科醫師ハ正當ノ事由トクシテ國民體力管理醫タルコトヲ拒ムコトヲ得ズ

本法ニ定ムルモノノ外國民體力管理醫ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 國民體力管理醫ハ體力検査ニ於テ被管理者ヲ検査シタル場  
 合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ本人又ハ第四條第二項ノ規定  
 ニ依ル義務者ニ對シ被管理者ノ體力向上ニ關スル指導ヲ爲スベ  
 シ

第十一條 地方長官ハ體力検査ニ其キ必要アリト認ムルトキハ被  
 管理者ニ付本人又ハ保護者ニ對シ圖又ハ公共團體ノ體力向上施設  
 ノ利用、就業ノ場所又ハ時間ノ制限、業務ノ變更其ノ他ノ體力  
 向上ニ關スル指示ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ必要アリト認  
 ムルトキハ被管理者ヲ使出スル者ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得  
 第十二條 地方長官ハ體力検査ニ其キ必要アリト認ムルトキハ主  
 務大臣ノ指定スル疾病ニ罹レル被管理者ニ付本人又ハ保護者ニ

對シ療養ニ關スル處置ヲ命ズルコトヲ得但シ官立ノ學校又ハ公  
 立若ハ私立ノ大學、專門學校、實業專門學校、高等學校若ハ之  
 ニ準ズベキ學校ニ在學又ハ在園スル被管理者ニ關シテハ勅令ヲ  
 以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得  
 前項ノ處置ヲ命ゼラレタル者貧困ノ爲其ノ義務ヲ履行スルコト  
 能ハザルトキハ地方長官ハ其ノ者ノ申請ニ依リ國民體力管理醫  
 ニ就キ療養ノ指導ヲ受ケシムルコトヲ得  
 第十三條 國又ハ道府縣ノ專業ニ使田セララル被管理者ニ關シ第  
 五條第一項及第十條乃至前條ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ  
 勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得  
 監獄、矯正院、少年教養院其ノ他勅令ヲ以テ定ムル施設ニ在ル

被管理業者ニ關シ第四條第二項、第五條第一項、第六條、第八條第一項第二項及第十條乃至前條ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付亦前項ニ同ジ

第十四條 被管理業者ヲ使用スル者ハ體力給與ノ結果ヲ不當ニ授用シテ被管理業者ニ對シ不利ヲ取拂フコトヲ得ズ

第十五條 左ノ各號ノ一ニ被當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第五條第一項但書ノ規定ニ依ル地方長官ノ命令ニ違反シ體力給與ヲ行ハザル者

二 被管理業者、保薦者又ハ第四條第二項但書ノ規定ニ依ル被管理業者ノ職務履行ヲ妨ケタル者

第十六條 左ノ各號ノ一ニ被當スル者ハ科料ニ處ス

一 第四條第二項ノ規定ニ依ル被管理業者ニシテ被管理業者ヲシテ體力給與ヲ受ケシムル程必要ナル措置ヲ爲サザルモノ

二 第六條ノ規定ニ違反シ恫出ヲ爲サザル者

第十七條 専業主父ハ被管理人ハ其ノ代理人、后主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ被管理業者ナ甘ノ業務ニ關シ第十五條第一號ノ違反行為ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第十八條 第十五條第一號ノ罰則ハ其ノ者方法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附 則

第十九條 體力檢査其ノ他體力管理ノ事務ニ從事シ又ハ從事シタル者其ノ職務上知得シタル人ノ秘密ヲ故ナク漏泄シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ズ

第二十條 本法ノ罰則ハ國、道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノニハ之ヲ適用セズ

第二十一條 町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準ズベキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準ズベキモノニ之ヲ適用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

當分ノ内地管理表ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ限定スルコトヲ得